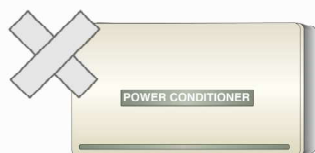


安心・安全な発電のために パワコン交換しませんか？

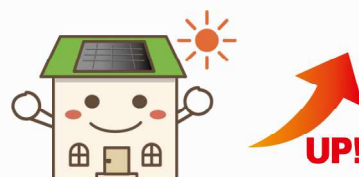
パワコン故障のリスク

パワコンの寿命は10年ほどで、そのまま使い続ける
といつ壊れるか分かりません。
壊れてから交換すると売電ロスも大きいので、
早めの対策が必要です。



リパワリングの効果

古い設備を最新の技術を用いた設備に置き換えることで、
発電効率を高めることができます。
より大きな出力を持つ設備に更新すると多くの電力を
生産することが可能になり、運用コストを削減できます。

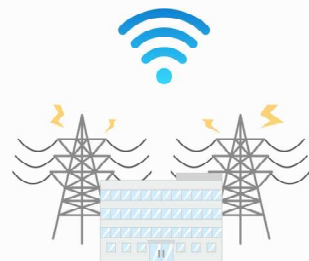


出力制御「オンライン化」のメリット

オンライン出力制御とは、出力制御機器を設置し、電力会社とインターネットでつなぐこと
で、遠隔制御が可能な発電設備です。これにより、電力の供給と需要のバランスを保ち、
電力網の安定性を確保することができます。

3G回線サービスの停波の影響

2026年3月末で3G（第三世代）回線は廃止される方向に進んでいます。
現況の遠隔監視システムや出力制御機能が使えなくなる可能性があり、
通信インフラの更新が必要となります。



売電額を増やしたいなら**西川産業**にご相談ください！

POINT

電力の安定供給と売電額アップを実現するためには
古いシステムの買い替えが必要です！
弊社は、多様なメーカーから
最適な機器をご提案させていただきます。



話題の

系統用蓄電池・DR補助金も **相談受付中！**



Q.今、パソコンを交換するメリットとは？

1. パソコンを新しくすると効率もアップ

新しいパソコンは10年前のパソコンと比較し発電効率もアップしています。

オムロンKPMシリーズ(従来パソコン)とKPVシリーズ(新機種)の性能を比較すると、1.6%の効率アップに！

1.6%の効率アップは、10年間で考えると

約40万円の売電金額アップ

が見込めます。

2. 交換費用・売電ロスの費用を抑えられる

パソコンの寿命は10年ほど。壊れるたびにパソコンの交換工事を行うよりも、まとめて交換の方がお得です！

PCS1台交換費用
機器代+工事費

約29.2万円

5.5kwパソコン×9台の場合

約29.2万円 × 9台 = 約262.8万円

見積や機器・工事手配、電力会社への申請などで交換から約1.5カ月以上かかると言われています。故障してから対応したのでは売電ロスが大きくなります。

PCS1台故障して復旧に1.5ヶ月
かかった場合の発電ロス

約3万円

5.5kwパソコン×9台の場合

約3万円 × 9台 = 約27万円

3. オンライン化により運用の最適化が可能に

オンライン化されたパソコンは、リアルタイムでの監視と制御が可能です。

九州電力 オンライン(制御率7.4%)、オフライン(制御率11.8%)、売電単価40円(税込44円)、容量49.5kW、設備使用率14%を想定した場合

年間発電量 24h×365日

49.5kW × 8,760h × 14%

= 60,707kWh

オンライン出力制御の場合の年間出力制御量

60,707kWh × 7.4%

= 4,371kWh

オフライン出力制御の場合の年間出力制御量

60,707kWh × 11.8%

= 7,163kWh

オンラインの制御量 — オフラインの制御量

7,163kWh — 4,371kWh

= 2,792kWh/年

FIT期間があと10年残っていれば

2,792kWh × 10年

= 27,920kWh

売電単価が40円(税込44円)であれば

27,920kWh × 44円

= 1,228,480円

残FIT期間を考えれば差が大きい！



※各種金額は参考となりますので、諸条件より異なります。



西川産業株式会社

本社 〒533-0005 大阪市東淀川区瑞光2丁目6番21号 TEL. 06-6990-5250 (代)
営業所 本社・大阪北・東大阪・堺・尼崎・三田・明石・兵庫小野・滋賀・彦根・奈良・岐阜・三重・岡山
グループ会社 マザックニシカワ株式会社 NBC エンジニア株式会社

営業所 担当者:

携帯:

■建設業許可
・建築工事業・電気工事業・管工事業 大阪府知事許可 (特-3) 第1315号
・一級建築士事務所 大阪府知事登録 (口) 第25126号

